



気候変動 × 日清食品グループ[®]

～日清食品グループの気候変動への取組み～

EARTH
FOOD
CREATOR

2022年3月25日（金）

日清食品ホールディングス株式会社

常に新しい食の文化を創造し続ける

“EARTH FOOD CREATOR (食文化創造集団) ”

として、環境・社会課題を解決しながら持続的成長を果たす

Mission

創業者精神



食 足 世 平 食 創 為 世
しょくそくせひ

しょくそういせい

美 健 賢 食 食 為 聖 職
びけんけんしょく

しょくいせいしょく

Vision

EARTH
FOOD
CREATOR



Value

大切な4つの思考



世界では脱炭素の機運が上昇

もはや気候変動と経済成長はトレードオフではなく、率先して環境問題や社会課題に取り組む企業こそビジネスの持続的成長を望める情勢にある



CSV経営における中長期成長ストーリー

ビジョンの実現と持続的成長に向け、3つの成長戦略テーマに取り組む





EARTH FOOD CHALLENGE 2030

地球のために。未来のために。

Earth Material Challenge

資源の有効活用へのチャレンジ

地球に優しい調達



持続可能な
パーム油調達比率
100%

地球資源の節約



水の使用
12.3m³/売上百万円

ごみの無い地球



- ①生産過程の再資源化率
99.5%以上
- ②販売・流通過程の廃棄物
半減

*日本の実績が対象

Green Food Challenge

気候変動問題へのチャレンジ

グリーンな電力で作る



SCOPE1+2
▲**30%**(対2018年比)

グリーンな食材を使う



SCOPE3
▲**15%**(対2018年比)

グリーンな包材で届ける



- ①環境配慮型の容器包装
- ②石化プラ使用原単位
▲**20%**削減

TCFD賛同とシナリオ分析について

日清食品グループは2019年にTCFDへ賛同しシナリオ分析を開始、分析結果を踏まえ環境戦略EARTH FOOD CHALLENGE2030を策定



世の中の動向

SDGs

パリ協定

TCFD
最終報告

IPCC1.5°C
特別報告書

COP26

SBT
RE100

ESG投資

TCFD
コンソーシアム 各国のカーボンニュートラル宣言
欧州、日本、中国…

日清食品の対応

EPSカップからECOカップ（紙）へ切り替え



国内外で重油からの燃料転換



百福士プロジェクト開始



太陽光発電の導入



ESG評価向上
PJ発足
DJSI
Asia Pacific

DJSI
World Index
2年連続
4年連続

★TCFD賛同
シナリオ分析開始

備えて安心!
チキンラーメンサバイバル術プロジェクト

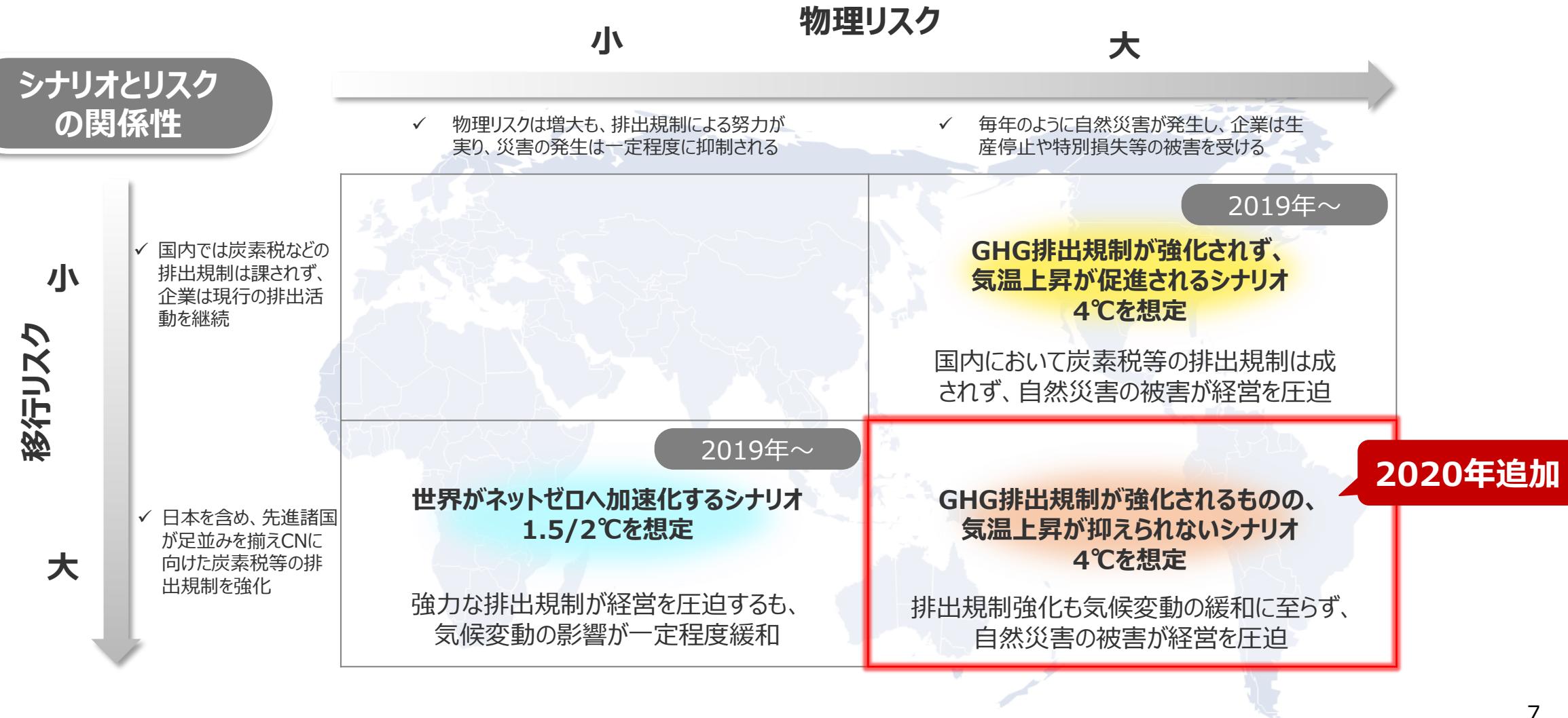


EARTH FOOD
CHALLENGE
2030
地球のために、未来のために。

RE100
CLIMATE GROUP | CDP

日清食品グループにおけるシナリオ分析について

2019年のシナリオ分析では気候変動に対する主要原料への影響やカーボンプライシングに関する分析を行い、2020年はGHG排出規制が強化されるものの、物理リスクも発現するシナリオを追加





Neo Natural Food = “プラント(植物由来)フード”

代替食(大豆ベース)の使用はCO2及び資源問題に貢献

“即席めんの動物性たんぱく質素材について、2030年までに植物性たんぱく質の使用量を1,100トンまであげる”

東京栄養サミット・コミットメントのひとつ

Neo Natural Foodとは何か？

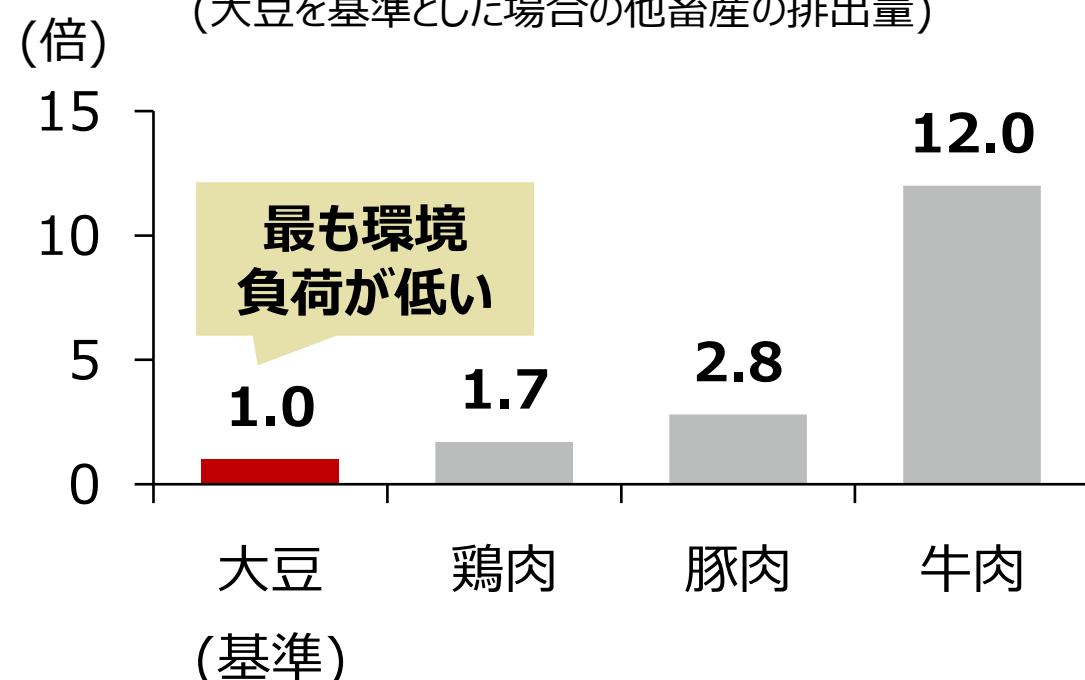


- Neo Natural Foodとは、植物由来の原料として作る代替食
- 現状は、“謎肉”として大豆ベースのNeo Natural Meatを使用
- 肉以外の素材への展開も検討中

期待されるCO2効果

原料別CO2排出量比較

(大豆を基準とした場合の他畜産の排出量)



最も環境負荷が低い



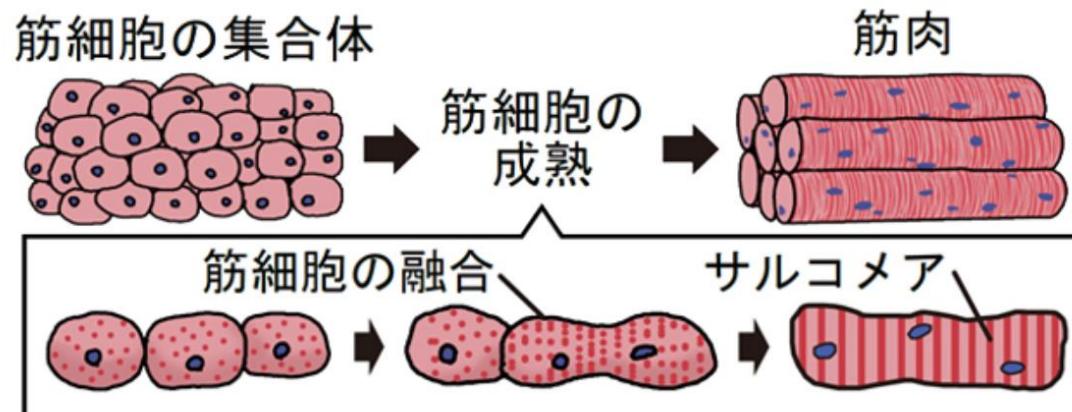
新たなるサステイナブル食材：“培養肉”

持続可能な食糧供給に向けて、新たな技術を開発中

「ミンチ肉」ではなく、肉本来の触感を持った“培養肉”的実用化を目指す

※遺伝子組み換え食品ではありません

筋組織の培養過程



- 培養が成功した牛筋細胞組織
- ミンチ肉ではなく、サイコロステーキ形態

カップヌードルの進化

具材

植物由来の“謎肉”、代替食の活用“ほぼイカ”

めん
スープ

持続可能なパーム油、RSPO認証パーム油の活用
グループ全体のRSPO比率は26%を占める

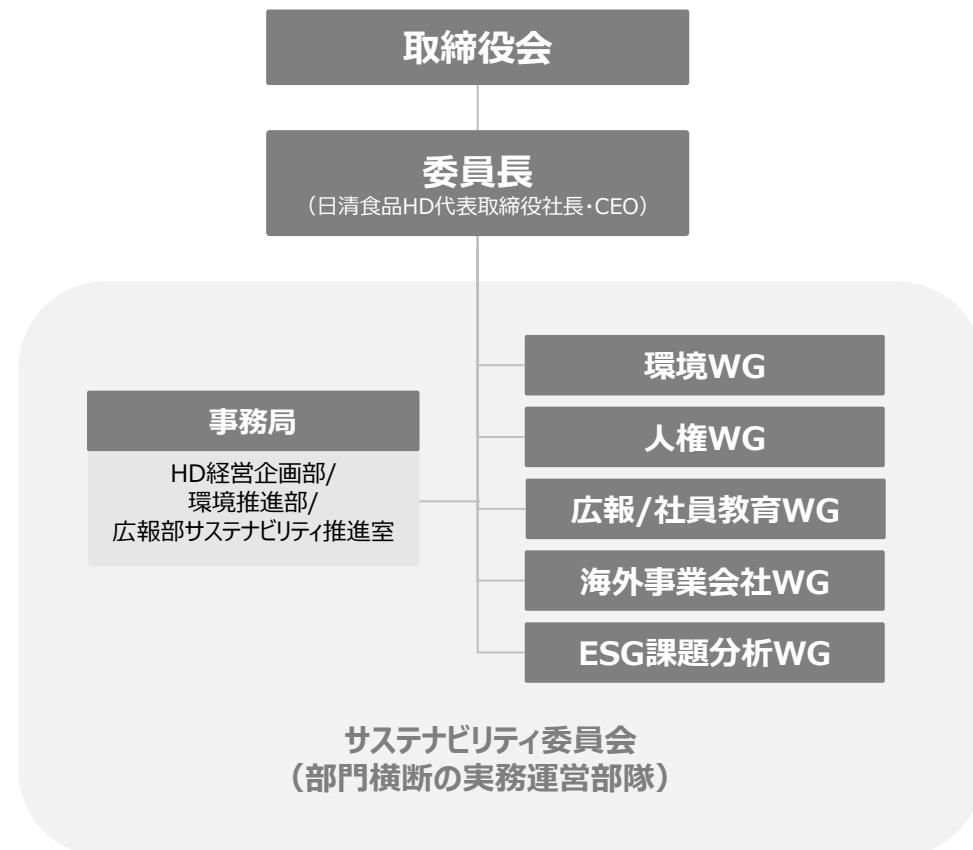
容器
包材

植物由来のカップ“バイオマスECOカップ”的活用
フタ止めシール廃止によるプラスチック使用の削減



サステナビリティ委員会、アドバイザリーボード

1 サステナビリティ委員会（2020年設立）



2 サステナビリティ・アドバイザリー・ボード（2021年設立）

社外有識者

SDGパートナーズ 代表取締役 CEO
田瀬 和夫様

三菱UFJリサーチ＆コンサルティング株式会社
経営企画部副部長 プリンシパル・サステナビリティ・ストラテジスト
吉高 まり様

社外取締役
櫻庭 英悦様

代表取締役 取締役社長・CEO 安藤 宏基
代表取締役 取締役副社長・COO 安藤 徳隆

取締役・CSO 兼 常務執行役員 横山 之雄
常務執行役員・CDO 田中 充

事務局 (経営企画部、環境推進部、広報部サステナビリティ推進室)

① TCFDシナリオ分析結果

- ② CO2排出削減 SBT達成に向けた取組み施策
- ③ 炭素税・国境炭素税

第1回議題

5月31日開催

第2回議題

12月13日開催

- ① COP26 総括・炭素税の動向・第6次エネルギー基本計画
- ② 生物多様性
- ③ Well being に関する動向と非財務情報開示の傾向



ご清聴ありがとうございました。